

高校生の家庭科教育に対する意識調査

—女子生徒と男子生徒の比較—

三木 幹子*, 岡本 亜弓**

(2015年11月13日 受理)

A High School Student Attitude Survey on Home Economics

— Comparison between Female and Male Students —

Motoko MIKI*, Ayumi OKAMOTO**

A questionnaire study was conducted on female and male high school students regarding attitudes towards home economics.

The result based on the factor analysis indicated gender differences in terms of liking/disliking of the subject, negative feeling towards the subject, gender consciousness, etc.

Keywords: Factor Analysis 因子分析, Home economics 家庭科, Gender ジェンダー

1. はじめに

家庭科の男女共修は、中学校が1993年から、高校が1994年から実施され、当時の生徒達は現在社会人となり、結婚し家庭を持つ年齢となっている。男女が協力して家庭を運営することを目標としていた家庭科共修であるが、内閣府の調査によると¹⁾、2010年時点^{注1)}の30～34歳男女の未婚率は、女性が34.5%、男性が47.3%である。これは家庭科の共修が開始された当時（1995年調査）の未婚率と比較して、女性は14.8%、男性は10%も上昇したことになる^{注2)}。日本人の晩婚化、未婚化、少子化は、景気の動向や外食産業の発達、家電のハイテク化と普及、若者の価値観の変化など、様々な環境の変化が要因となっていると思われるが、果たして学校における家庭科教育は、子ども達にどのような影響を与えてきたのだろうか。

本研究では、高校生の家庭科に対する意識と関心について明らかにするために、現役の高校生男女を対象に、家庭科教育に関するアンケート調査を行い、女子生徒と男子生徒の家庭科に対する意識の比較を行う。

2. 調査方法

(1) 調査時期：2014年7月

(2) 調査対象：被験者は県内高等学校普通科1年生、女子生徒51名、男子生徒59名、合計110名である。

(3) 調査内容：質問紙法によるアンケート調査を実施した。高校家庭科に関する意識質問を27項目設定した。評価にはSD法を用い、各項目について「そう思う」「ややそう思う」「どちらでもない」「あまり思わない」「全く思わない」の5段階で回答してもらった（評価に用いた質問項目は図1、表1、表2参照）。

3. 結果・考察

(1) 官能評価プロフィール

女子生徒および男子生徒の各質問項目に対する評価の平均を算出し、図1の官能評価プロフィールに示す。

女子と男子に共通した結果としては、「家庭科は気楽に授業を受けることができる」「家庭科の授業内容は他の教科よりも簡単だ」に対して、「ややそう思う」寄りの評価をしており、家庭科に苦手意識は感じていないようだ。また、「今の時代、男性も家事や育児の知識が必要だと思う」に対して、「そう思う」寄りの評価をしており、「家庭科は男子には必要ない」については、「あまり思わない」と評価していることから、男子生徒が家庭科を履修

* 広島女学院大学人間生活学部生活デザイン・建築学科教授

** 府中緑が丘中学校教諭（広島翔洋高校元教諭）広島女学院大学2004年度生活デザイン・情報学科卒業生

することに肯定的であるといえる。しかしその反面,「家庭科が得意な女子は家庭的なイメージが強い」は「ややそう思う」と評価しており,女子生徒が得意であることが好ましい科目という印象を持っているようだ。

女子生徒と男子生徒の評価に差が見られた意識項目

は,「家庭科が好きだ」「調理や手芸等の実習授業は楽しい」「家庭科で学んだことを実生活で役立てている」などであり,男子よりも女子の方が評価が高かった。

以上の結果から,家庭科の男女共修に関して生徒は違和感を持っておらず,家庭科の必要性について理解を示

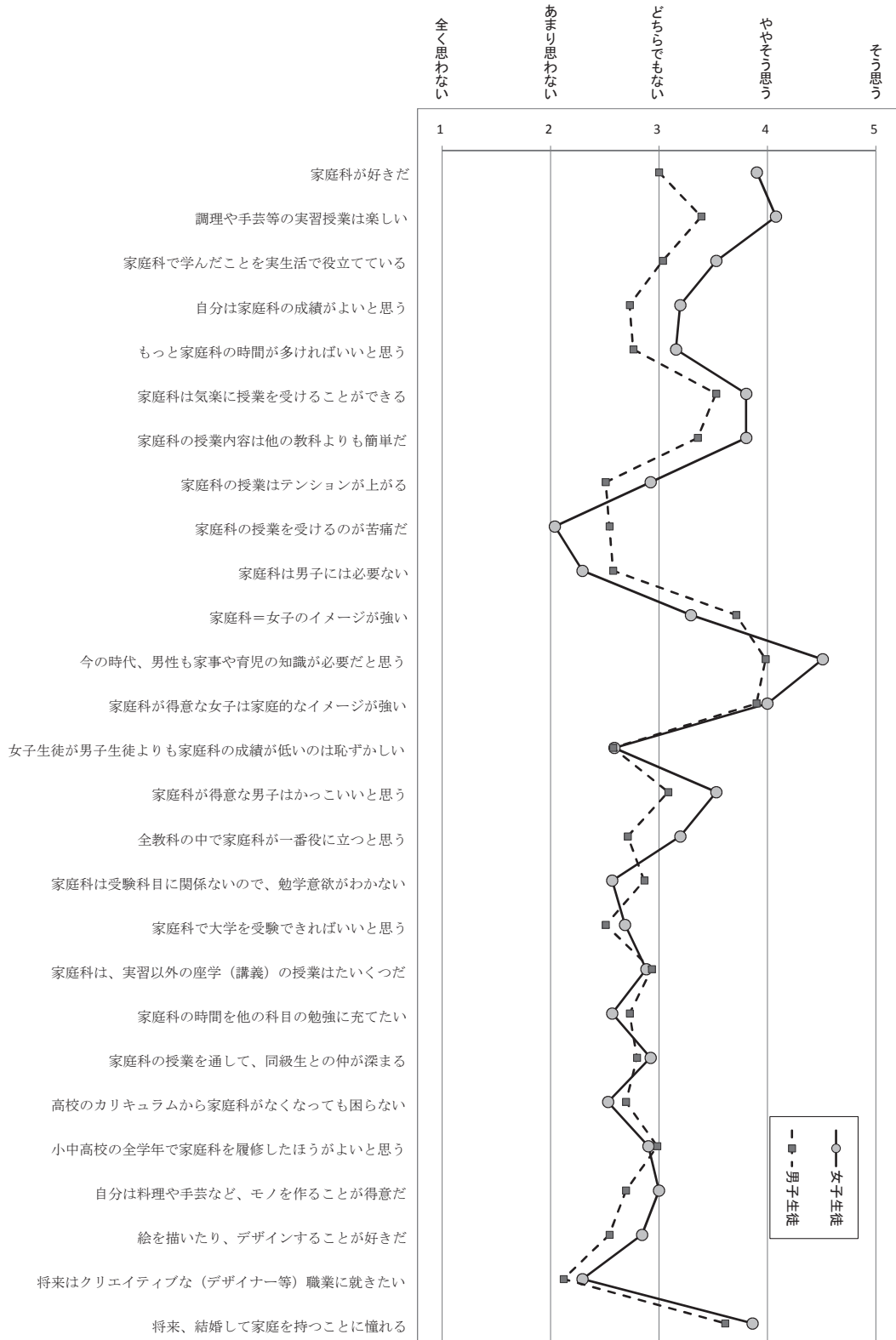


図1 官能評価プロフィール (意識調査)

しているが、家庭科に対する嗜好性や、家庭科が得意であるかの程度については、男女の生徒間で差が生じているということがわかった。

(2) 単相関係数

家庭科教育に関する意識調査に用いた27個の質問項目間における単相関係数を表1-1（全被験者）、表1-2（女子生徒）、表1-3（男子生徒）に示す。検定の結果、相関が有意であった組合せに**（ $p < 1\%$ ）または*（ $p < 5\%$ ）を記している。これら3種類の表から、女性被験者と男性被験者の意識の違いを比較する。

1) 全被験者

表1-1の全被験者生徒の結果より、「家庭科が好きだ」と他の項目との相関に注目すると、「調理や手芸等の実習授業は楽しい」「家庭科で学んだことを実生活で役立てている」「家庭科は気楽に授業を受けることができる」等との間に有意な相関がみられた。家庭科が好きという生徒は、家庭科の中でも特に実習を楽しんでおり、受験教科ではないため、気楽に受講していると思われる。また、実際に学んだことを家庭内で実践しているようだ。他の項目との相関を見ると、「家庭科は男子には必要ない（マイナス値＝必要だ）」「今の時代、男性も家事や育児の知識が必要だと思う」との間に有意な相関が見られたことから、家庭科を好きな生徒は、家庭科は男子にとっても必要であり、役立っていると考えているといえる。さらに、「自分は料理や手芸など、モノを作ることが得意だ」「絵を描いたり、デザインすることが好きだ」との間にも相関が認められており、デザインや美術が得意な生徒は、家庭科も好きである傾向が確認できた。

次に、「今の時代、男性も家事や育児の知識が必要だと思う」と他の項目との相関に注目すると、「調理や手芸等の実習授業は楽しい」「家庭科が得意な男子はカッコいいと思う」「全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う」「将来、結婚して家庭を持つことに憧れる」等との間に有意な相関がみられた。男性が家事をすることの必要性を感じている生徒は、家庭科の実習授業を楽しんでいると考えており、家事を苦痛と感じていない。また、家事をする男性を肯定しており、結婚願望も強いことがわかった。

2) 女子生徒と男子生徒の比較

表1-2より、女性生徒には相関が認められて、男子生徒には相関が認められなかった組合せについて考察を行う。「家庭科は男子には必要ない」と「家庭科で学んだことを実生活で役立てている（マイナス＝役立てていない）」との間に有意な相関が見られたことから、家庭科で学んだ内容は実生活で役立てる必要がないと考えているため、男子が家庭科を学ぶ必要性も感じていないよう

だ。これは、現代では外食産業や家事のための電化製品が発達しており、家事の専門知識がなくても生活ができることが要因と考える。

次に、「家庭科＝女子のイメージが強い」と「家庭科が得意な女子は家庭的なイメージが強い」の両方と相関が認められた項目は、「自分は家庭科の成績がよいと思う」「家庭科の授業内容は他の教科よりも簡単だ」等であった。家庭科は女子に向いている科目だと考えている生徒は、自身も家庭科が得意であると思っていることがわかる。このように家庭科を女子特有の科目と位置づけるジェンダー意識が高い生徒は、女子としてのプライドも高いようだ。このことは、「女子生徒が男子生徒よりも家庭科の成績が低いのは恥ずかしい」と「家庭科が得意な女子は家庭的なイメージが強い」との間に相関があることから判断できる。しかし、家庭科に女子としての誇りを持っているからといって、男子の家庭科履修を認めていないわけではない。このことは、「家庭科が得意な女子は家庭的なイメージが強い」と「家庭科は男子には必要ない（マイナス＝必要だ）」「家庭科が得意な男子はカッコいいと思う」の間に相関が見られることから明らかである。以上の相関関係は、男子生徒には現れていないため、女子特有の傾向であると思われる。

表1-3より、男子生徒には相関が認められて、女子生徒には相関が認められなかった組合せについて考察を行う。

女子生徒と異なり、「家庭科＝女子のイメージが強い」や「家庭科が得意な女子は家庭的なイメージが強い」と他の項目の間に有意な相関が見られた組合せが少ない。すなわち、家庭科が女子に向いているか等のジェンダー的思考は持っていないといえる。

また、「家庭科が得意な男子はカッコいいと思う」と、「家庭科が好きだ」「家庭科で学んだことを実生活で役立てている」「家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる」等との間に有意な相関が見られたことから、家庭科が得意な男子によいイメージを持っている男子は、自分自身も家庭科が好きであり、授業に積極的であるといえる。

男子生徒の場合、家庭科への意識と結婚願望の間に関係性が見られた。「将来、結婚して家庭を持つことに憧れる」と相関が認められた項目は、「調理や手芸等の実習授業は楽しい」「家庭科で学んだことを実生活で役立てている」「今の時代、男性も家事や育児の知識が必要だと思う」「女子生徒が男子生徒よりも家庭科の成績が低いのは恥ずかしい（マイナス＝恥ずかしくない）」「家庭科が得意な男子はカッコいいと思う」「全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う」等であった。すなわち、家庭科が好

高校生の家庭科教育に対する意識調査

表1-2 単相関係数（女子生徒）

	家庭科が 好きだ	調理や手 芸等の実 習授業は 楽しい	家庭科で 学んだこ とを実生 活で立て ている	自分は家 庭科の成 績がよい と思う	もっと家 庭科の時 間が多け ればよい と思う	家庭科は 卒業に授 業を受け ることが できる	家庭科は 女子の教 育科目よ りも簡単	家庭科の 授業はテ ンション が上がる	家庭科の 授業を受 けるのが 苦痛だ	家庭科は 男子には 必要ない	家庭科＝ 女子のイ メージが 強い	今の時代、 男性でも 家事や育 児の知識 が必要だ と思う	現代、時 代性をも たない子 どもは家 庭科が得 意でない イメージ が強い	女子生徒 よりも家 庭科の成 績が高い イメージ がかしい	
家庭科が好きだ	1.0000 -	0.7571 -													
調理や手芸等の実習授業は楽しい		0.6145 **	1.0000 -												
家庭科で学んだことを実生活で立てている		0.3536 *	0.9655	1.0000 -											
自分は家庭科の成績がよいと思う				1.0000 -											
もっと家庭科の時間が多ければいいと思う		0.4877 **	0.4441 **	0.2582	0.4631 **	1.0000 -									
家庭科は卒業に授業を受けることができる		0.3834 *	0.3002 *	0.4099 **	0.2946 *	0.2305	1.0000 -								
家庭科の授業内容は他の教科よりも簡単な		0.5127 **	0.2287	0.0263	0.4336 **	0.2903 *	0.5464 **	1.0000 -							
家庭科の授業はテンションが上がる		0.4271 **	0.2348	0.1674	0.3348 *	0.7619 **	0.2734	0.3901 **	1.0000 -						
家庭科の授業を受けるのが苦痛だ		-0.3638 **	-0.2974 *	-0.2615	-0.1618	-0.3330 *	-0.3868 **	-0.2937 *	-0.2410	1.0000 -					
家庭科は男子には必要ない		-0.2277 *	-0.4159 *	-0.3409 *	-0.0759	-0.1919	-0.1221	-0.1167	-0.1117	-0.0132	1.0000 -				
家庭科＝女子のイメージが強い		0.2964 *	0.2594	0.0011	0.5105 **	0.2473	0.1218	0.3711 **	0.2205	-0.1504	0.0797	1.0000 -			
今の時代、男性も家事や育児の知識が必要だと思う		0.1290	-0.0589	0.1281	0.1263	-0.0282	0.2404	0.2620	-0.0951	-0.0007	-0.1356	1.0000 -			
家庭科が得意な男子は家庭的なイメージが強い		0.4413 *	0.3072	0.1607	0.4913 *	0.2774 *	0.3342 *	0.4667 **	0.2723	-0.2575	-0.3702 **	0.3545 *	0.2927 *	1.0000 -	
女子生徒が男子生徒よりも家庭科の成績が低いのは恥ずかしい		0.3495 *	-0.0222	-0.1625	0.3696 **	0.3304 *	-0.0407	0.2550	0.3727 **	-0.1536	0.1332	0.3675 **	-0.0628	0.3532 *	1.0000 -
家庭科が得意な男子はかっこいいと思う		0.2655	0.0160	0.0324	0.1158	0.1763	-0.0150	0.1684	0.2126	-0.1669	-0.3948 **	0.0926	0.2491	0.3903 **	0.3283 *
全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う		0.3166 *	0.1206	0.1767	0.3918 **	0.2529	0.1355	0.2598	0.2221	-0.2124	-0.1529	0.4322 **	0.1586	0.4421 **	0.2410
家庭科は受験科目に関係ないので、勉強意欲がわかない		-0.1412	-0.0060	-0.0308	0.0808	0.2056	-0.2377	-0.1052	0.1678	0.0813	-0.0114	0.1204	-0.2465	-0.0827	0.1638
家庭科で大学を受験できればいいと思う		0.0170	-0.0258	0.0222	0.1178	0.3640 *	0.2784 *	0.3428 *	0.4946 **	-0.2766 *	-0.0224	0.1474	0.1474	0.1953	0.2177
家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ		-0.0267	-0.0353	0.0766	-0.0819	-0.2258	-0.2058	-0.1106	-0.2300	0.3804 **	-0.2324	0.0819	0.0338	0.0485	-0.1354
家庭科の時間を他の科目の勉強に充てたい		-0.0916	-0.0525	-0.2018	-0.0436	0.0094	-0.1437	-0.0598	0.1011	0.2067	0.1253	0.1975	-0.0687	-0.0585	0.2173
家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる		0.2597	-0.0328	0.0024	0.3442 *	0.1869	0.0734	0.2882 *	0.3346 *	0.0294	-0.0159	0.2788 *	0.0662	0.2712	0.3754 **
高校のカリキュラムから家庭科がなくなくても困らない		-0.1820	-0.2189	-0.2945 *	0.0817	-0.2709	-0.0624	0.1167	-0.1452	0.3580 **	0.1965	0.2994 *	-0.0908	0.0249	0.1886
中小高校の全学年で家庭科を履修したほうがよいと思う		0.2550	0.0570	-0.1335	0.3463 *	0.1460	-0.0274	0.0539	0.1901	0.0372	0.0111	0.1798	0.1013	0.1810	0.4275 **
自分は料理や手芸など、モノを作ることで得意だ		0.4514 *	0.3448 *	0.3006 *	0.2573	0.4021 **	0.4375 **	0.4020 **	0.5009 **	-0.2810 *	-0.1140	-0.0290	-0.1198	0.1637	0.0816
絵を描いたり、デザインすることが好きだ		-0.0129	0.2443	0.1542	-0.1238	0.0978	0.2064	0.0944	0.1674	-0.2683	-0.1386	0.0709	-0.1295	-0.0332	-0.1403
将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい		0.1326	0.2474	-0.0795	0.0660	0.2551	0.0439	0.2147	0.1790	0.1014	-0.1036	0.1478	-0.1495	-0.0977	-0.1033
将来、結婚して家庭を持つことに憧れる		0.2987 *	0.1036	-0.0760	0.4666 **	0.2986 *	0.3638 **	0.4859 **	0.3242 *	0.0228	-0.1490	0.0978	0.1961	0.5385 **	0.2484
家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	家庭科が得意な男子はかっこいいと思う
家庭科が得意な男子はかっこいいと思う		1.0000 -													
全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う		0.4203 **	1.0000 -												
家庭科は受験科目に関係ないので、勉強意欲がわかない		0.1287	-0.0655	1.0000 -											
家庭科で大学を受験できればいいと思う		0.3492 *	0.2137	0.2823 *	1.0000 -										
家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ		0.0636	-0.1034	0.1784	-0.0546	1.0000 -									
家庭科の時間を他の科目の勉強に充てたい		-0.0327	-0.0694	0.2470	0.1621	0.3930 **	1.0000 -								
家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる		0.2469	0.3442 *	-0.0912	0.2455	-0.1392	0.0590	1.0000 -							
高校のカリキュラムから家庭科がなくなくても困らない		-0.0473	0.0596	0.0655	-0.0687	0.1126	0.0170	0.0247	1.0000 -						
中小高校の全学年で家庭科を履修したほうがよいと思う		0.1907	0.2396	0.0260	0.1988	-0.1998	-0.0050	0.4448 **	0.2341	1.0000 -					
自分は料理や手芸など、モノを作ることで得意だ		0.3322	0.3262	0.0903	0.3262 *	0.2263 *	-0.0161	0.2263 *	0.1383	1.0000 -					
絵を描いたり、デザインすることが好きだ		-0.0105	0.1111	0.1574	0.2658	-0.1295	-0.0778	-0.0829	-0.0859	0.1302	0.2826 *	1.0000 -			
将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい		0.1021	0.0013	0.3024 *	0.2042	0.0376	0.0121	0.0689	-0.1083	0.1982	0.2877 *	0.4285 **	1.0000 -		
将来、結婚して家庭を持つことに憧れる		0.1106	0.0672	0.0169	0.1874	0.0481	-0.0004	0.3000 *	0.0422	0.1946	0.3981 **	-0.1776	0.1078	1.0000 -	
無相関の検定 *: 5 % **: 1 %															

表1-3 単相関係数（男子生徒）

	家庭科が 好きだ	調理や手 芸等の実 習授業は 楽しい	家庭科で 学んだこ とを実生 活で役立 てている	自分は家 庭科の成 績がよい と思う	もっと家 庭科の時 間があれば いいと思 う	家庭科は 気楽に受 けること ができる	家庭科の 授業内容 は他の教 科よりも 簡単な	家庭科の 授業はテ ンション が上がる	家庭科の 授業を受 けるのが 苦痛だ	家庭科は 男子には 必要ない	家庭科＝ 女子のイ メージが 強い	今の時代、男 性も家事や 育児の知識 が必要だと思 う	家庭科が 得意な女 子のイメ ージは家庭 的なイメ ージが強い	女子生徒は 男子生徒よ りも家庭科 の成績が低い のは恥ずか しい
家庭科が好きだ	1.0000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
調理や手芸等の実習授業は楽しい	0.5440	1.0000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭科で学んだことを実生活で役立てている	0.5870	0.5052	1.0000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自分は家庭科の成績がよいと思う	0.4601	0.3862	0.4601	1.0000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
もっと家庭科の時間が多ければいいと思う	0.4716	0.4027	0.3516	0.3750	1.0000	-	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭科は気楽に授業を受けることができる	0.5729	0.4125	0.2759	0.4234	0.6567	1.0000	-	-	-	-	-	-	-	-
家庭科の授業内容は他の教科よりも簡単な	0.2692	0.3621	0.2628	0.4133	0.3101	0.5137	1.0000	-	-	-	-	-	-	-
家庭科の授業はテンションが上がる	0.5811	0.3344	0.3364	0.3346	0.6490	0.6201	0.3475	1.0000	-	-	-	-	-	-
家庭科の授業を受けるのが苦痛だ	-0.3800	-0.5234	-0.2801	-0.2909	-0.3966	-0.5408	-0.2454	-0.3757	1.0000	-	-	-	-	-
家庭科は男子には必要ない	-0.2231	-0.2683	-0.1883	-0.1259	-0.1559	-0.1750	-0.0156	-0.0730	0.4124	1.0000	-	-	-	-
家庭科＝女子のイメージが強い	-0.3156	-0.1132	-0.2056	-0.1381	-0.0921	-0.1100	-0.0418	-0.3091	0.1207	0.1547	1.0000	-	-	-
今の時代、男性も家事や育児の知識が必要だと思う	0.2939	0.4319	0.0946	0.3335	0.3044	0.4896	0.2392	0.2360	-0.4538	-0.3922	0.0419	1.0000	-	-
家庭科が得意な男子は家庭的なイメージが強い	-0.1488	0.0457	-0.1780	-0.0753	0.1123	0.0641	0.1625	-0.0775	0.0927	0.0810	0.6288	0.2082	1.0000	-
女子生徒が男子生徒よりも家庭科の成績が低いのは恥ずかしい	-0.1464	-0.2046	-0.1503	-0.2103	0.0251	0.0144	0.0775	-0.0935	0.2376	0.3456	0.3267	-0.0348	0.2547	1.0000
家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	0.5048	0.3789	0.2671	0.1503	0.3198	0.3494	0.3036	0.3416	-0.1152	-0.0912	-0.0207	0.2200	0.0677	0.1000
全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う	0.6004	0.3979	0.4639	0.2787	0.3483	0.2974	0.2027	0.4030	-0.2464	-0.2520	-0.1362	0.3193	0.0321	0.0208
家庭科は受験科目に関係ないの、勉強意欲がわかない	-0.2902	-0.2778	-0.0662	-0.3045	-0.0674	-0.3266	-0.2404	-0.1588	0.4587	0.4632	0.3134	-0.2946	0.3781	0.4050
家庭科で大学を受験できればいいと思う	0.2679	0.1936	0.0862	0.1215	0.3772	0.3365	0.3058	0.2400	-0.0033	0.2394	0.0322	0.1361	0.0007	0.2564
家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ	-0.2900	-0.3444	-0.1318	-0.3325	-0.2487	-0.2173	-0.0650	-0.2074	0.4748	0.2275	0.0507	-0.2955	0.1430	0.2970
家庭科の時間を他の科目の勉強に充てたい	-0.1714	-0.2152	-0.1799	-0.0481	-0.0630	0.0491	-0.0469	-0.1645	0.3897	0.3975	0.1260	-0.1748	0.1249	0.1372
家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる	0.3400	0.2691	0.0777	0.0115	0.3407	0.4010	0.1415	0.4484	-0.2468	-0.0718	-0.0773	0.2798	0.1728	0.0252
高校のカリキュラムから家庭科がなくなっても困らない	-0.3688	-0.2383	-0.1855	-0.3415	-0.3437	-0.2343	-0.1117	-0.4000	0.2144	0.0868	0.1613	-0.1494	0.2499	0.1314
小・中学校の全学年で家庭科を履修したほうがよいと思う	0.3613	0.1911	0.4401	0.1852	0.3707	0.2626	0.0678	0.3117	-0.0929	-0.1214	-0.0264	-0.0343	-0.0017	0.0747
自分は料理や手芸など、モノを作ることが得意だ	0.3196	0.2938	0.3968	0.2810	0.2256	0.0988	0.1846	0.2306	-0.0158	-0.0972	-0.0390	-0.0046	-0.3157	-0.1378
絵を描いたり、デザインすることが好きだ	0.3204	0.0852	0.1739	0.2111	0.1668	0.2962	0.3930	0.4111	-0.0289	0.0560	-0.2436	0.0658	-0.0662	-0.0939
将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい	0.2084	-0.1369	0.2784	0.3172	0.2858	0.1487	0.1284	0.2694	0.1412	0.2219	-0.1124	-0.1460	0.0124	0.0124
将来、結婚して家庭を持つことに憧れる	0.4488	0.5415	0.4261	0.5290	0.2878	0.3467	0.1821	0.2251	-0.3131	-0.2525	-0.1746	0.4464	-0.0339	-0.3180
家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	0.5048	0.3789	0.2671	0.1503	0.3198	0.3494	0.3036	0.3416	-0.1152	-0.0912	-0.0207	0.2200	0.0677	0.1000
全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う	0.6004	0.3979	0.4639	0.2787	0.3483	0.2974	0.2027	0.4030	-0.2464	-0.2520	-0.1362	0.3193	0.0321	0.0208
家庭科は受験科目に関係ないの、勉強意欲がわかない	-0.2902	-0.2778	-0.0662	-0.3045	-0.0674	-0.3266	-0.2404	-0.1588	0.4587	0.4632	0.3134	-0.2946	0.3781	0.4050
家庭科で大学を受験できればいいと思う	0.2679	0.1936	0.0862	0.1215	0.3772	0.3365	0.3058	0.2400	-0.0033	0.2394	0.0322	0.1361	0.0007	0.2564
家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ	-0.2900	-0.3444	-0.1318	-0.3325	-0.2487	-0.2173	-0.0650	-0.2074	0.4748	0.2275	0.0507	-0.2955	0.1430	0.2970
家庭科の時間を他の科目の勉強に充てたい	-0.1714	-0.2152	-0.1799	-0.0481	-0.0630	0.0491	-0.0469	-0.1645	0.3897	0.3975	0.1260	-0.1748	0.1249	0.1372
家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる	0.3400	0.2691	0.0777	0.0115	0.3407	0.4010	0.1415	0.4484	-0.2468	-0.0718	-0.0773	0.2798	0.1728	0.0252
高校のカリキュラムから家庭科がなくなっても困らない	-0.3688	-0.2383	-0.1855	-0.3415	-0.3437	-0.2343	-0.1117	-0.4000	0.2144	0.0868	0.1613	-0.1494	0.2499	0.1314
小・中学校の全学年で家庭科を履修したほうがよいと思う	0.3613	0.1911	0.4401	0.1852	0.3707	0.2626	0.0678	0.3117	-0.0929	-0.1214	-0.0264	-0.0343	-0.0017	0.0747
自分は料理や手芸など、モノを作ることが得意だ	0.3196	0.2938	0.3968	0.2810	0.2256	0.0988	0.1846	0.2306	-0.0158	-0.0972	-0.0390	-0.0046	-0.3157	-0.1378
絵を描いたり、デザインすることが好きだ	0.3204	0.0852	0.1739	0.2111	0.1668	0.2962	0.3930	0.4111	-0.0289	0.0560	-0.2436	0.0658	-0.0662	-0.0939
将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい	0.2084	-0.1369	0.2784	0.3172	0.2858	0.1487	0.1284	0.2694	0.1412	0.2219	-0.1124	-0.1460	0.0124	0.0124
将来、結婚して家庭を持つことに憧れる	0.4488	0.5415	0.4261	0.5290	0.2878	0.3467	0.1821	0.2251	-0.3131	-0.2525	-0.1746	0.4464	-0.0339	-0.3180
家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	0.5048	0.3789	0.2671	0.1503	0.3198	0.3494	0.3036	0.3416	-0.1152	-0.0912	-0.0207	0.2200	0.0677	0.1000
全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う	0.6004	0.3979	0.4639	0.2787	0.3483	0.2974	0.2027	0.4030	-0.2464	-0.2520	-0.1362	0.3193	0.0321	0.0208
家庭科は受験科目に関係ないの、勉強意欲がわかない	-0.2902	-0.2778	-0.0662	-0.3045	-0.0674	-0.3266	-0.2404	-0.1588	0.4587	0.4632	0.3134	-0.2946	0.3781	0.4050
家庭科で大学を受験できればいいと思う	0.2679	0.1936	0.0862	0.1215	0.3772	0.3365	0.3058	0.2400	-0.0033	0.2394	0.0322	0.1361	0.0007	0.2564
家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ	-0.2900	-0.3444	-0.1318	-0.3325	-0.2487	-0.2173	-0.0650	-0.2074	0.4748	0.2275	0.0507	-0.2955	0.1430	0.2970
家庭科の時間を他の科目の勉強に充てたい	-0.1714	-0.2152	-0.1799	-0.0481	-0.0630	0.0491	-0.0469	-0.1645	0.3897	0.3975	0.1260	-0.1748	0.1249	0.1372
家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる	0.3400	0.2691	0.0777	0.0115	0.3407	0.4010	0.1415	0.4484	-0.2468	-0.0718	-0.0773	0.2798	0.1728	0.0252
高校のカリキュラムから家庭科がなくなっても困らない	-0.3688	-0.2383	-0.1855	-0.3415	-0.3437	-0.2343	-0.1117	-0.4000	0.2144	0.0868	0.1613	-0.1494	0.2499	0.1314
小・中学校の全学年で家庭科を履修したほうがよいと思う	0.3613	0.1911	0.4401	0.1852	0.3707	0.2626	0.0678	0.3117	-0.0929	-0.1214	-0.0264	-0.0343	-0.0017	0.0747
自分は料理や手芸など、モノを作ることが得意だ	0.3196	0.2938	0.3968	0.2810	0.2256	0.0988	0.1846	0.2306	-0.0158	-0.0972	-0.0390	-0.0046	-0.3157	-0.1378
絵を描いたり、デザインすることが好きだ	0.3204	0.0852	0.1739	0.2111	0.1668	0.2962	0.3930	0.4111	-0.0289	0.0560	-0.2436	0.0658	-0.0662	-0.0939
将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい	0.2084	-0.1369	0.2784	0.3172	0.2858	0.1487	0.1284	0.2694	0.1412	0.2219	-0.1124	-0.1460	0.0124	0.0124
将来、結婚して家庭を持つことに憧れる	0.4488	0.5415	0.4261	0.5290	0.2878	0.3467	0.1821	0.2251	-0.3131	-0.2525	-0.1746	0.4464	-0.0339	-0.3180
家庭科が得意な男子はかっこいいと思う	0.5048	0.3789	0.2671	0.1503	0.3198	0.3494	0.3036	0.3416	-0.1152	-0.0912	-0.0207	0.2200	0.0677	0.1000
全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う	0.6004	0.3979	0.4639	0.2787	0.3483	0.2974	0.2027	0.4030	-0.2464	-0.2520	-0.1362	0.3193	0.0321	0.0208
家庭科は受験科目に関係ないの、勉強意欲がわかない	-0.2902	-0.2778	-0.0662	-0.3045	-0.0674	-0.3266	-0.2404	-0.1588	0.4587	0.4632	0.3134	-0.2946	0.3781	0.4050
家庭科で大学を受験できればいいと思う	0.2679	0.1936	0.0862	0.1215	0.3772	0.3365	0.3058	0.2400	-0.0033	0.2394	0.0322	0.1361	0.0007	0.2564
家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ	-0.2900	-0.3444	-0.1318	-0.3325	-0.2487	-0.2173	-0.0650	-0.2074	0.4748	0.2275	0.0507	-0.2955	0.1430	0.2970
家庭科の時間を他の科目の勉強に充てたい	-0.1714	-0.2152	-0.1799	-0.0481	-0.0630	0.0491	-0.0469	-0.1645	0.3897	0.3975	0.1260	-0.1748	0.1249	0.1372
家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる	0.3400	0.2691	0.0777	0.0115	0.3407	0.4010	0.1415	0.4484	-0.2468	-0.0718	-0.0773	0.2798	0.1728	0.0252
高校のカリキュラムから家庭科がなくなっても困らない	-0.3688	-0.2383	-0.1855	-0.3415	-0.3437	-0.2343	-0.1117	-0.4000	0.2144	0.0868	0.1613	-0.1494	0.2499	0.1314
小・中学校の全学年で家庭科を履修したほうがよいと思う	0.3613	0.1911	0.4401	0.1852	0.3707	0.2626	0.0678	0.3117	-0.0929	-0.1214	-0.0264	-0.0343	-0.0017	0.0747
自分は料理や手芸など、モノを作ることが得意だ	0.3196	0.2938	0.3968	0.2810	0.2256	0.0988	0.1846	0.2306	-0.0158	-0.0972	-0.0390	-0.0046	-0.3157	-0.1378
絵を描いたり、デザインすることが好きだ	0.3204	0.0852	0.1739	0.2111	0.1668	0.2962	0.3930	0.4111	-0.0289	0.0560	-0.2436	0.0658	-0.0662	-0.0939
将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい	0.2084	-0.1369	0.2784	0.3172	0.2858	0.1487	0.1284	0.2694	0.1412	0.2219	-0.1124	-0.1460	0.0124	0.0124
将来、結婚して家庭を持つことに憧れる	0.4488	0.5415	0.4261	0.5290	0.2878	0.3467	0.1821	0.2251	-0.3131	-0.2525	-0.1746	0.4464	-0.0339	-0.3180
無相関の検定 * : 5 % ** : 1 %														

きで、家庭科の必要性を重視している男子生徒は、自身の結婚願望が強いということである。女子生徒の場合、これらの組合せに相関は見られないことから、女子は結婚願望の有無に関係なく、女子が家庭科を履修することや、家事が得意なことは特別ではないという考えがあるためではないかと考える。

(3) 因子分析

家庭科教育に対する意識の基本因子を抽出するため

に、27個の質問項目を変数に、被験者110名の全評価を観測回数として因子分析を行った。評価値は「全く思わない」から「そう思う」までを各1～5点として換算した。因子分析には主因子法を用い、バリマックス回転法により、軸回転後の因子負荷量および各被験者の因子得点を求めた。

因子分析を行った結果、表2に示すような5因子が抽出された。因子負荷量より各因子の意味を検討した結

表2 因子分析

因子負荷量：回転後（バリマックス法）

変数名	第1因子 家庭科肯定	第2因子 デザイン・モノ作りへの関心	第3因子 家庭科拒絶	第4因子 家庭科に関するジェンダー意識	第5因子 家庭科の二次的効果
調理や手芸等の実習授業は楽しい	0.7118	0.0966	-0.2170	-0.0649	0.1362
家庭科で学んだことを実生活で役立てている	0.6523	0.1973	0.0185	-0.2412	0.1119
家庭科が好きだ	0.5934	0.3255	-0.2744	-0.0524	0.3015
自分は家庭科の成績がよいと思う	0.5871	0.2222	-0.2165	0.1505	0.0348
将来、結婚して家庭を持つことに憧れる	0.4507	0.1762	-0.2103	0.0691	0.2072
家庭科の授業内容は他の教科よりも簡単だ	0.4036	0.2798	-0.3141	0.2926	0.0566
家庭科は男子には必要ない	-0.3851	0.1643	0.1453	0.2296	-0.2894
将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい	0.0673	0.6128	0.1501	-0.0888	0.0294
家庭科の授業はテンションが上がる	0.2650	0.6100	-0.3667	0.1464	0.1005
自分は料理や手芸など、モノを作ることが得意だ	0.3552	0.5538	0.0148	-0.1898	0.0666
家庭科で大学を受験できればいいと思う	0.0296	0.5488	-0.1222	0.1932	0.1841
もっと家庭科の時間が多ければいいと思う	0.4078	0.5171	-0.3285	0.2227	0.0566
絵を描いたり、デザインすることが好きだ	0.0713	0.5127	-0.0418	-0.1496	0.1144
小中高校の全学年で家庭科を履修したほうがよいと思う	0.1694	0.3817	0.1462	0.0218	0.2782
家庭科の授業を受けるのが苦痛だ	-0.3610	-0.0441	0.6004	0.0970	-0.1051
家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ	-0.0643	-0.0532	0.5603	0.1616	-0.0445
家庭科は受験科目に関係ないので、勉強意欲がわからない	-0.1919	0.1587	0.4880	0.3362	-0.0743
今の時代、男性も家事や育児の知識が必要だと思う	0.3432	-0.1309	-0.4170	0.0703	0.2999
家庭科は気楽に授業を受けることができる	0.4343	0.2866	-0.4951	0.1319	0.0533
家庭科＝女子のイメージが強い	-0.0003	-0.1487	0.0750	0.6364	-0.0084
家庭科が得意な女子は家庭的なイメージが強い	0.2246	-0.1406	-0.0080	0.6325	0.2396
女子生徒が男子生徒よりも家庭科の成績が低いのは恥ずかしい	-0.1271	0.1689	0.0987	0.5451	0.1528
家庭科の時間を他の科目の勉強に充てたい	-0.0942	0.0444	0.3060	0.3629	-0.2778
高校のカリキュラムから家庭科がなくなっても困らない	-0.1350	-0.2981	0.2812	0.2852	-0.1342
家庭科が得意な男子はカッコいいと思う	0.1743	0.2522	-0.0718	0.1009	0.6685
全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う	0.3510	0.2254	-0.0926	0.0472	0.6100
家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる	0.0177	0.2785	-0.2706	0.1814	0.4819
固有値	3.2706	2.8539	2.2435	1.9374	1.7346
寄与率（％）	12.11	10.57	8.31	7.18	6.42
累積寄与率（％）	12.11	22.68	30.99	38.17	44.59

果、第1因子は、「調理や手芸等の実習授業は楽しい」「家庭科で学んだことを実生活で役立てている」「家庭科が好きだ」等の因子負荷量が高い値を示していることから、“家庭科肯定因子”と解釈した。

第2因子は、「将来はクリエイティブな（デザイナー等）職業に就きたい」「家庭科の授業はテンションが上がる」「自分は料理や手芸など、モノを作ることが得意だ」「絵を描いたり、デザインすることが好きだ」等の因子負荷量が高い値を示していることから、“デザイン・モノ作りへの関心の因子”と解釈した。

第3因子は、「家庭科の授業を受けるのが苦痛だ」「家庭科は、実習以外の座学（講義）の授業はたいくつだ」「家庭科は受験科目に関係ないので、勉強意欲がわからない」等の因子負荷量が高い値を示していることから、“家庭科拒絶因子”と解釈した。

第4因子は、「家庭科＝女子のイメージが強い」「家庭科が得意な女子は家庭的なイメージが強い」「女子生徒が男子生徒よりも家庭科の成績が低いのは恥ずかしい」等の因子負荷量が高い値を示していることから、“家庭科に関するジェンダー意識の因子”と解釈した。

第5因子は、「家庭科が得意な男子はカッコいいと思う」「全教科の中で家庭科が一番役に立つと思う」「家庭科の授業を通して、同級生との仲が深まる」等の因子負荷量が高い値を示していることから、“家庭科の二次的効果の因子”と解釈した。

（4）因子得点の分布

女子生徒および男子生徒の家庭科教育に対する意識の各因子について因子得点を算出し、各被験者の因子得点の位置関係を検討した。第1因子と第2因子の分布図を図2に、第3因子と第4因子の分布図を図3に、第1因子と第5因子の分布図を図4に示す。

図2は、よこ軸が第1因子“家庭科肯定の因子”，たて軸が第2因子“デザイン・モノ作りへの関心の因子”を示している。第1因子は、女子生徒がプラスに、男子生徒がマイナスに多く分布しており、女子の方が家庭科を好き・得意と評価しているのに対し、男子生徒は家庭科に苦手意識を持っているといえる。

各因子のプラスとマイナスの組合せにより、被験者を4領域に分類することができる。

第1因子がプラス、第2因子がプラスの領域に分布している被験者は、家庭科が得意であり、かつデザインやモノ作りが好きという生徒である。この領域に分布している被験者はほとんどが女子生徒である。

第1因子がマイナス、第2因子がプラスの領域に分布している被験者は、デザインやモノ作りは好きだが、家庭科が得意ではない生徒である。この領域に分布しているのは男子生徒が多い。男子にとっては、デザインやモノ作りと、家庭科の調理や裁縫は別のカテゴリーであると捉えているようだ。

第1因子がプラス、第2因子がマイナスの領域に分布している被験者は少なく、家庭科が得意なのにモノ作り

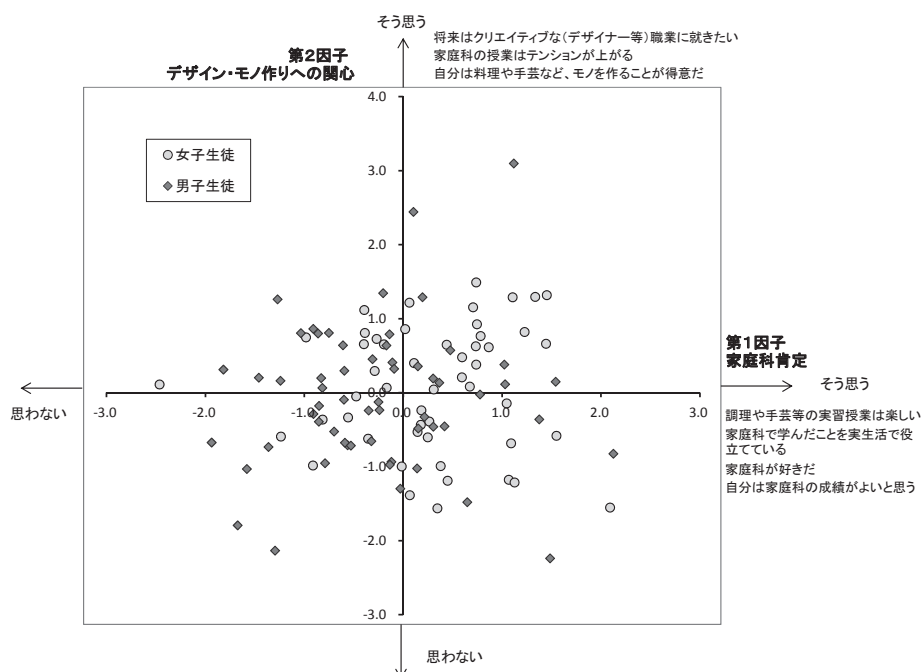


図2 因子得点の分布（第1因子と第2因子）

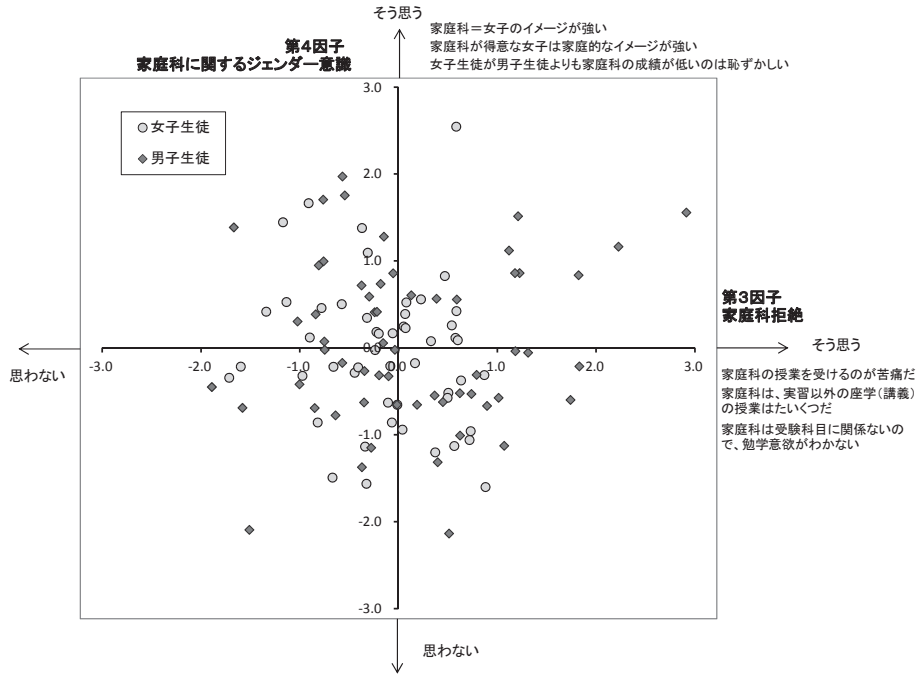


図3 因子得点の分布 (第3因子と第4因子)

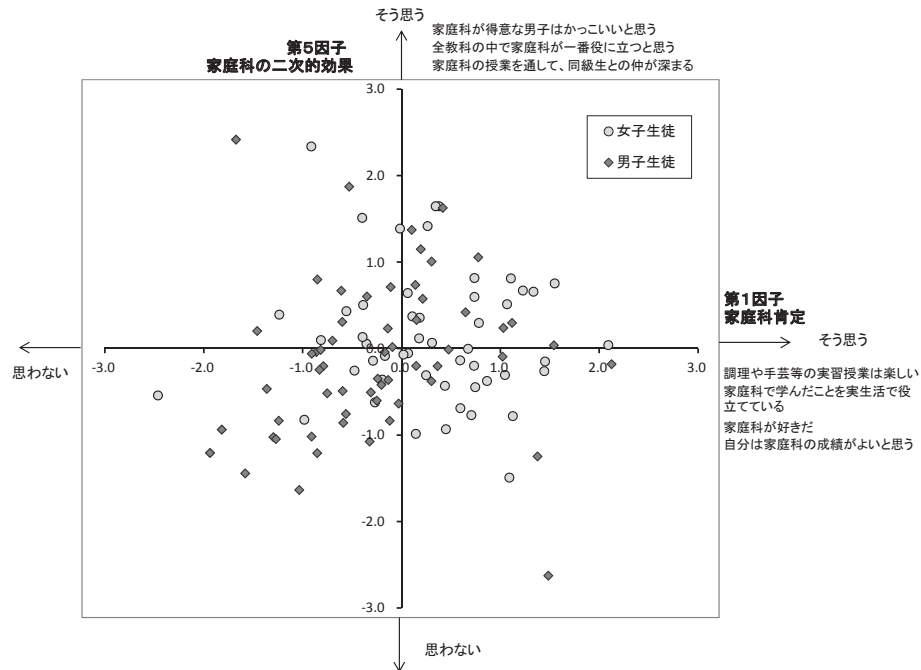


図4 因子得点の分布 (第1因子と第5因子)

に関心がないという生徒は少数派であるといえる。

第1因子、第2因子共にマイナスの領域に分布している被験者は男子が多い。デザインも調理や手芸も得意ではなく、したがって家庭科も好きではないと評価しているようだ。

図3は、よこ軸が第3因子“家庭科拒絶の因子”，たて軸が第4因子“家庭科に関するジェンダー意識の因子”を示している。全体的に第3因子はマイナスに多く分布

していることから、家庭科の履修を容認している生徒が多いことがわかる。

第3因子、第4因子が共にプラスの領域に属している被験者は、受験科目ではない家庭科を履修することに苦痛を感じており、かつ家庭科は女子の科目であるというイメージを持っている。この領域に属している被験者の内、男子生徒の得点が両因子ともに高い傾向がみられる。これらの男子生徒が家庭科を苦手としている理由と

して、家庭科が受験科目ではないことと、家庭科は男子が履修する科目ではないという固定観念を持っていることがあげられる。

第3因子がマイナス、第4因子がプラスの領域に属している被験者は、「家庭科は女子の科目」という印象を持ってはいるが、家庭科の授業を苦痛とは思っていない生徒である。この領域には男子生徒も多く分布している。

第3因子がプラス、第4因子がマイナスの領域に分布している被験者数は、家庭科を女子の科目とは思っておらず、男女共修を認めてはいるが、自分自身は家庭科に勉強意欲を持っていない生徒である。この領域には少数ではあるが男子も分布していることから、家庭科が苦手だからといって、必ずしも男子が家庭科を履修することに異議を唱えているわけではないことがわかる。

第3因子、第4因子共にマイナスの領域に分布している被験者は、家庭科に苦手意識を持っておらず、また家庭科の男女共修に違和感を持っていない生徒である。この領域には男女ともに一定数が分布していることから、この程度には、理想とする高校家庭科教育が実現できているだろうと考える。

図4は、よこ軸が第1因子“家庭科肯定の因子”，たて軸が第5因子“家庭科の二次的効果の因子”を示している。

第1因子、第2因子が共にプラスの領域に分布している被験者は、家庭科が好きで得意であり、かつ家庭科によって仲間意識が高まったり、男子がかつこよく見えたりする効果を認識している生徒である。この領域には女子・男子共に多く分布しており、家庭科によい印象を持っているといえる。

第1因子がマイナス、第2因子がプラスの領域に分布している被験者は、家庭科が苦手であり、それ故に家庭科の二次的効果を期待していない生徒である。この領域に分布している人数は少ない。

第1因子がプラス、第2因子がマイナスの領域に分布している被験者は、家庭科は好きだが、最も役立つ科目とは思っておらず、また同級生と仲が良くなる効果はないと思っているといった、冷静に家庭科を評価している生徒である。この領域に分布しているのは、ほとんどが女子生徒である。今回の研究結果においてはこのように、女子生徒が家庭科に対して、「女子が履修することが当たり前の一科目」として捉える傾向がみられる。

第1因子、第2因子共にマイナスの領域に分布している被験者は人数が多く、ほとんどが男子生徒である。このように女子生徒に比べて男子生徒は、家庭科に苦手意識を持っており、それ故に男子が家庭科を学ぶことを

かつこいいとは思っておらず、それほど役立つ科目とも感じていないという傾向が強いことがわかった。

4. まとめ

高校1年生の男女生徒を対象に、家庭科教育に対する意識調査アンケート調査を行い、性別における意識の違いを考察した。

(1) 家庭科の男女共修に関して生徒は違和感を持っておらず、家庭科の必要性について理解を示しているが、女子の方が男子よりも家庭科が好き、得意であると評価しており、男女の生徒間で差がみられた。

(2) 意識項目間の単相関係数より、家庭科を女子特有の科目と位置づけるジェンダー意識が高い女子生徒は、女子としての誇りが高く、男子よりもよい成績を取らなければならないと考えている。

(3) 男子生徒の場合、家庭科への積極性と結婚願望の間に正の相関が見られた。

(4) 家庭科教育に対する意識の基本因子を抽出するために因子分析を行った結果、“家庭科肯定因子”，“デザイン・モノ作りへの関心の因子”，“家庭科拒絶因子”，“家庭科に関するジェンダー意識の因子”，“家庭科の二次的効果の因子”の5因子が抽出された。

(5) 因子得点の分布図より、女子生徒は家庭科を好き・得意と評価しているのに対し、男子生徒は家庭科に苦手意識を持っていることがわかった。

(6) 家庭科が得意であり、かつデザインやものの作りが好きという被験者のほとんどが女子生徒であった。

(7) 家庭科を苦手としている男子生徒は、家庭科は男子が履修する科目ではないという固定観念が強い。

(8) 家庭科は好きだが、最も役立つ科目とは思っていないと評価した被験者のほとんどが女子であることから、女子生徒は家庭科に対して、「女子が履修することが当たり前の一科目」として捉える傾向がみられた。

(9) 女子生徒に比べて男子生徒は、家庭科に苦手意識を持っており、それほど役立つ科目とも感じていない傾向が強い。

おわりに、アンケートにご協力いただいた広島翔洋高等学校の生徒のみなさま、高校関係者のみなさまへ、家庭科教育の発展のためにご協力をいただいたことのお礼と感謝を申し上げます。

注

1) 本研究中には、総務省「2015国勢調査」の結果はまだ公開されていない。

- 2) 2015年の厚生労働白書⁴⁾では、50歳の時点で一度も結婚したことのない人の割合を示す「生涯未婚率」は、現在は男性が20.1%、女性が10.6%だが、2035年には、男性は29.0%、女性は19.2%と予測されている²⁾。

引用文献

- 1) 『内閣府一少子化対策一未婚率』, <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/data/mikonritsu.html>, 閲覧日: 2015年11月20日
- 2) FNN フジニュース「2015年厚生労働白書 男性の「生涯未婚率」, 2035年に29%に」
<http://www.fnn-news.com/news/headlines/articles/>

CONN00306778.html, 閲覧日: 2015年10月27日

参考文献

- 1) 文部科学省編, 『高等学校学習指導要領解説家庭編』, 開隆堂出版, 2010年
- 2) 三木幹子, 植木由香, 「女子大学生と女子高校生の恋愛観・結婚観とジェンダー意識との関係」, 広島女学院大学論集, 第60集, 2010年12月, pp. 95-109
- 3) 『女性の暮らしと生活意識データ集2011』, 三冬社, 2010年
- 4) 厚生労働省編, 『厚生労働白書 平成27年版』, 日経印刷, 2015年